

社協の 福祉だより

第93号

2021.1

CONTENTS

- 琴の浦高等特別支援学校……………①
- 福祉議会……………②
- ことうら福祉検定フェスティバル……………③
- 災害義援金他……………④



福祉議会に参加した 琴の浦高等特別支援学校の生徒さん

みんなで支え合い、共に生きる福祉のまちづくり ～一人ひとりが輝くために～

編集・発行 社会福祉法人 琴浦町社会福祉協議会

本所：〒689-2352 琴浦町大字浦安123番地1 TEL 52-3600 FAX 53-2035

支所：〒689-2501 琴浦町大字赤碕1113番地1 TEL 55-1124 FAX 55-1137

URL(ホームページ) <http://www.kotoura-shakyo.jp>

Eメール 社会福祉協議会(代表) fukushi@kotoura-shakyo.jp ボランティアセンター vc@kotoura-shakyo.jp

この広報紙は赤い羽根共同募金の配分を受けています。





年頭のごあいさつ

謹んで新春をお祝い申し上げます。
 町民の皆さまには、社会福祉協議会の各種事業の推進にご理解
 とご協力をいただき、深くお礼申し上げます。
 令和3年が幸多き年になりますよう、ご祈念申し上げ、ご挨拶とさ
 せていただきます。



琴の浦高等特別支援学校との福祉議会

～誰もがいきがいをもって暮らせるまちにするために～

社会福祉センターで琴の浦高等特別支援学校の生徒5名が、学校を卒業した後、社会に出て働きながら地域で生活していくうえで、みんなが安心して楽しく暮らせるまちにするために、自分たちが地域の中で何ができるのか議会形式で発表されました。

【副田さんの提案】

私の身近な公民館で仲間づくりや憩いの場づくりをされていることを知らなかった。チラシを配るなど、参加者を増やすような広報が必要だと思う。



福祉議会の様子

【前田さんの提案】

琴浦町の高齢化率が高いことを知った。高齢者にとって楽しめる場所をつくる必要がある。また、若い人が琴浦町から出ないようにお店の数が増えたらいいと思う。

【日名子さんの提案】

高齢者と若者が一緒にできるような遊びをしたらいいと思う。その時は、私たち若者が司会進行をしていきたい。

【中田さんの提案】

楽しい町にするために、私たちが高齢者をサロンに誘って、一緒に楽しみたい。そのためには、出会った時に自分から積極的に声かけをしたい。

【木下さんの提案】

足の不自由な方や車を持っていない人が歩いて行けるようにサロンの場所を工夫したらよい。参加者の得意なことが披露できる場所になればいいと思う。

福祉議会を終えて、生徒さんの感想

- 自分が考えていた以上に、福祉の仕事は甘くない、簡単じゃないと分かった。
 - 自分からあいさつや声かけができるようにしたい。
 - これから福祉の勉強をもっと頑張って、高齢者の方を支援していきたい。
- など



発表される中田さん

生徒さんの発表を受けて

いきいきと楽しく暮らせる地域、やさしいまちをつくるために、若い世代とともにできるサロンや地域カフェなどの取り組みを、社協は地域の皆さまと一緒に考え、実行していきたいと思えます。

「ことうら福祉検定フェスティバルでの体験」

みんなで考える暮らしやすいまち



講演・福祉検定

11月22日(日)、社会福祉センターで第2回ことうら福祉検定フェスティバルを開催しました。福祉のまちについて考える機会として、小学生から70歳代の参加者の方に検定試験や福祉体験に参加していただきました。



ユニバーサルデザイン用具の体験

福祉体験で感じたこと



車いす体験 参加者の声

- 少しの段差でも自分の力だけでは進めないし、道のデコボコが体に響いた。
- 普通の暮らしでは気付かなかったが、車いすに乗ると歩道や車道の段差の多さに初めて気付いた。
- 車いすを押し時に、乗っている人が怖くないように配慮することも必要だと思った。 など



アイマスク体験 参加者の声

- なにも見えない状態で歩くのがとても怖かった。白杖の先の感覚がつかめず、慣れていても難しいと思った。
- 歩く時に、声をかけてもらえてとても安心できた。介助者との信頼関係が重要だと思った。
- 目が見えない人のためにも、道端や公共施設に障がい物があれば、取り除く必要があると思った。 など

全体を通して感じたこと

参加者の声

- 障がいのある方への声かけや気配りができるやさしいまちになってほしい。
- 障がい者の方にとって妨げになっているものはないか、などを考えるきっかけになった。
- 段差の少ないバリアフリーな歩道が増えれば良いなと思った。
- まずは自分が体験してみることが大切だと思った。 など

皆様の貴重な感想をいただきありがとうございました。これからも誰もが暮らしやすいまちについて、町民の方とともに考えていきたいと思えます。

協力事業所からいただいた商品などを参加者の方に渡しました。

参加賞協力事業所一覧

順不同・敬称略

はな・はな工房	鳥取東伯ミート(株)	(有)伊藤清掃	パチンコ玄海	UFO東伯
(株)赤碕オート	馬野建設(株)	カミヤマスポーツ文具	山陰合同銀行東伯支店	(有)ふじもと
(株)あさひほーむ	赤碕ダイハツ(有)	(有)おき米店	米久おいしい鶏(株)	東伯ガス産業(株)
(株)風の街東伯店	琴浦町建設協議会	琴浦町観光協会	みなとガーデン	協同警備保障(株)
(株)若松組	(株)ハピネライフー光	(有)高塚かまぼこ店		

ご協力ありがとうございました!



「いい加減」という言葉は、不真面目や無責任という意味で使われます。しかし、「いい(良い)加減」で生きた方が、心にも身体にもいいようです。-詠み人知らず-

令和2年7月豪雨災害義援金について

令和2年7月に熊本県および日本各地で発生した豪雨災害を受け、7月～12月を期間として義援金を受付しました。集まった義援金は、被災された方の見舞金などの被災支援に使われます。



豪雨災害を受けた熊本県球磨村

集まった義援金

令和2年7月豪雨災害義援金 (中央募金会)	合計	336,871円
熊本県南豪雨災害義援金 (熊本県共同募金会)	合計	135,000円

命を守るために

避難場所の確認など、日ごろからできる備えが命を守ることに繋がります。普段から災害に対する備えを考えてみませんか？

町民一人ひとりが安心して生きがいをもって暮らせる地域をめざして

地域福祉の推進及び前進のため、第2期琴浦町地域福祉活動計画の一部見直しを行いました。
※第2期琴浦町地域福祉活動計画ダイジェスト版(R3.1月全戸配布)をご覧ください。



地域福祉推進協議会委員がワークショップで見直し内容を検討



提案書を琴浦町地域福祉推進協議会佐伯座長から社協川上会長へ提出

(推進協議会委員の意見)

- 地域によっては住民同士の関係が希薄になっている。困っている人の把握ができていない。困ったことの相談も受けないし相談もできない関係性があります。「困ったことはお互い助け合おう」という気持ちになればと思います。
- 福祉は高齢者だけではなく年代を問わず関係している。共生社会の実現に向けて20代、30代の考えや意見も反映されるような福祉になっていくことが大切であると思う。

第2期琴浦町地域福祉活動計画の見直し内容は社協ホームページに掲載しています。 お問い合わせ：総務課 52-3600